

ここでは、ファイルの記入の仕方について説明します。

このファイルを示すことで、保育園や幼稚園、学校などライフステージや支援者が変わることにより繰り返し説明していたプロフィールが一目瞭然となります。

ご本人の基本情報になるものですので、できるだけ記入してみましょう。

①わたしのプロフィールの記入例(1ページ)



①わたしのプロフィール

●基本情報 記入日：平成〇〇年 〇月 〇日 (4歳 か月)

あかいは 氏名 (愛称)	あかいは 赤磐 太郎 (愛称: たらうちゃん)	性 別	(男) 女	生 年 月 日	昭和・平成 〇〇年 〇月 〇日 (西暦 20△△年)
住 所	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 赤磐市〇〇〇△丁目-△-〇				
あかいは 保護者 氏名	父 あかいは 赤磐 一郎	あかいは 母	あかいは 赤磐 花子	会社員) パート)	
電話番号	086 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 (兼)・なし				
緊急連絡先 (携帯電話・職場などすぐ連絡がつくところ) 誰の携帯か、会社や部署名なども書き込んでください。	① 090 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 (母携帯)				
	② 080 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 (父携帯)				
	③ 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 (母職場 〇〇会社〇〇課)				
家族の様子について書いてみましょう。	<div style="text-align: center;"> </div>				
わたしが通っているところ	園・学校・職場など (4月〜) 学年 (4月〜) 3月までの通所先				

緊急連絡先は必ず連絡が取れるところを書きましょう。

ジェノグラム(家系図)の記載例です。男性は□、女性は○で表します。記入例は、父、母、姉、本人、弟の5人家族で、父方祖母、母方祖父・祖母がいる場合です。兄弟は、左から年齢順に、右に行くほど年下になります。同居している家族は囲みます。書き方が解らない場合は、ファイルをもらった窓口にお問い合わせしましょう。

記入することからは、とても重要な個人情報ですので、このファイルは大切に保管し、プライバシー保護には十分配慮しましょう。医療、教育、福祉のことなど、内容が専門的な場合は、可能な範囲で支援機関に情報提供をしてもらい記入してみましょう。必要に応じて、発達検査の記録や専門機関の所見など合わせてファイルにつづっておいでもいいでしょう。

●医療・福祉について

療育手帳	(有)・無 判定 (A ・ (B))
精神保健福祉手帳	有・無 判定 ()
身体障害者手帳	有・無 判定 () 種 () 級
診 断 名	自閉症スペクトラム障害
診断を受けた時期	昭和・平成 〇〇年 〇月頃 3歳 11か月頃
診断を受けた医療機関及び主治医	医療機関住所 〇〇市〇〇町〇〇〇△-〇 医療機関名 〇〇△△クリニック 主治医名 〇山 〇〇先生
服 薬	薬の種類(目的) 〇〇〇〇を寝つきを良くするために飲んでいる
(有・無)	※詳細は、薬の記録P13 投薬の回数 寝る前に1回 量など 〇〇mg 1錠



②生まれた時から3歳くらいまでのことの記入例(3ページ)

すべて記入する必要はありません。母子手帳を参照して書ける範囲で書いてみましょう。

②生まれた時から3歳くらいまでのこと

●母子手帳を参照して書ける範囲で書いてみましょう。 記入日：平成〇〇年 〇月 〇〇日

出産した医療機関の名称・場所	〇〇産婦人科		住所 〇〇市〇〇町〇〇-△	
妊娠期間	妊娠 38 週	分娩所滞在時間	9時間	
出産の経過	経膈位・骨盤位・その他() 特記事項			
出産の方法	経膈分娩			
本人の計測値	身長	体重	脚囲	頭囲
	49.5 cm	3060 g	32.0 cm	32.0 cm
生まれたときの特記事項など	新生児仮死：有・無() アプガー指数(9点/1分後 9点/5分後)			
	黄疸の有無(生後1週間以内)：(有)無 保育器使用の有無：有()無()			
	先天性の病気や体質の有無() 聴覚検査(有)無() 右耳 異常あり・なし() 左耳 異常あり・なし()			
生後3か月くらいまでの主な栄養	母乳・混合・人工	授乳時間	規則的・不規則	哺乳力：強い・普通
離乳について	離乳開始(5)か月		離乳完了(1)歳()か月	
歯について	歯の生え始め(7)か月			
発達について	首のすわり()歳(4)か月	はいはいをする()歳(10)か月		
	寝返り()歳(6)か月	一人で歩く(1)歳(1)か月		
	おすわり()歳(8)か月			
病気について	大きな病気をしたことがある 時期：() / 病名：()			
ひきつけについて	ひきつけ(有)無()	初回時期(平成〇〇年 〇月〇日)	発熱時(39 度 1 回) ・発熱時以外()回	

乳幼児期の健康診査の状況

健診名	特記事項(医師などから話があった内容など)
乳 児 健 診 (3~4か月児健診)	臍側に大きくなっている。体重の増えが少し気になると言われた。

母子手帳と同じような内容になっています。

母子手帳を見ながら記入したり、必要などころは、母子手帳の写しをファイルにとじたいしてもいいでしょう。



健診の時に、医師などから話があった内容を書き留めておきましょう。

乳幼児期の発達について振り返ってみましょう。1歳くらいまでや、1歳以降のお子さんの様子はいかがでしたか。わかる範囲で記入してみましょう。

●乳幼児期の発達について振り返ってみましょう

※チェックしてください。

1歳くらいまで

◆あやしても顔を見たり笑ったりしなかった	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ
◆小さな音に敏感だった	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ
◆おとなしく寝ていることが多かった	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
◆抱かれることを喜ばなかった	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ
◆人見知りをしなかった	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
◆親の後姿をしなかった	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

□にチェックを
してきましょう。



③今のわたしの記入例(5ページ)

③今のわたし ※コピーしてご利用ください。

記入日：平成〇〇年 〇月〇〇日(4歳 か月)

●健康状態 良好・不調
卵のアレルギーがあります。

●性格・特徴・特性(親として気に入っているところ)
性格は明るく優しい子です。車が好きで、いろいろな車の名前を覚えています。歌や音楽も好きで、音楽をかけたり、歌いながら誘うと気持ちが切り替わりやすいです。

●コミュニケーション(本人⇒周りの人へ) ※チェックしてください
年齢相応の日常会話 話し言葉(2語文以上・2語文・単語) 簡単な文字(漢字・ひらがな)
写真や絵カード ジェスチャーや指さし 手を引く・握る・並く等の直接的行動
その他()
 要求の伝え方
 欲しい物がある時は、指をさしたり、手を引く張って連れていってほしいです。なかなか言葉ができません。して欲しいことがあると、持ってきて渡して「して」と言います。
 拒否の伝え方
 「いや」と言って、逃げたい泣いてしまいます。したくない時は、寝そべったり、隅っこでじっとしてしまいます。

●コミュニケーション(周りの人⇒本人へ) ※チェックしてください
年齢相応の日常会話 話し言葉(2語文以上・2語文・単語) 簡単な文字(漢字・ひらがな)
写真や絵カード ジェスチャーや指さし 実物そのものを見せる
その他()
 指示等の伝え方
 簡単な短い言葉の方が伝わりやすいです。してほしくないことは、手で「×」を作って、「ダメ」と教えています。
 好ましい関わり方
 実物や絵・写真を見せると手掛かりになります。車や歌が好きなので、車のおもちゃを見せたり歌を歌ったりして誘うと気持ちが落ち着きやすいです。

●支援について(身辺自立・外出や余暇支援・配慮してほしいこと等)
 じっとしているのが苦手で動きまわり、また外が好きなのでうっかりしていると一人で勝手に外に出てしまうことがあります。目が離せません。
 先回りで手をださずに、自分からお願いの言葉が出るように、待つようにしています。

本人の性格やコミュニケーションの取り方、普段配慮して関わっていること、また、得意なこと、苦手なこと、パニックの時の様子や対処方法、こだわりについて書くところです。

書くのが難しいようであれば、支援者の人に手伝ってもらいたいでしょう。

年齢が大きくなってくると、内容が変わってきますので、様式をコピーして、付け足していくとよいでしょう。



●得意なこと・苦手なこと

	好きなもの・得意なこと	嫌いなもの・苦手なこと
食事・おかず 野菜や果物	白いご飯、うどん	緑の野菜、肉
飲み物	りんごジュース	炭酸ジュース
嗜好品 (お菓子・酒・煙草等)	甘いお菓子	酸っぱい食べ物
物・グッズ おもちゃ	車、○○レンジャー	
活動・遊び	外遊び、靴いっこ	

④困ったときマニュアル ※コピーしてご利用ください。

記入日：平成 〇〇 年 〇月 〇日(4歳 か月)

●困ったとき・つらいときのパニック行動

場面・場所	原因として考えられること(きっかけ)	表現・行動(強さ・持続時間)	落ち着く方法	予防方法
人がたくさんいるところ	ざわざわした雰囲気 音が怖い 集団が苦手	行きたがらぬ、逃げ、泣く	お気に入りの車のおもちゃを持たせる 一人にさせて落ち着くまで待つ	場所の下見に行く おく スケジュールを説明しておく
椅子に座る	長時間じっとしておくのが苦手 他のことに気が散れやすいタイプ	立って動き回る 座らそうとするど嫌がり逃げ、泣く	しばらくうろうろして気が落ち着いたら座ることができる	座る時間を短くする 無理に座らせない

周りの人たちがわかっていると、本人の支援の役に立ちます。できるだけ具体的に記入してみましょう。



●本人の譲れないこと・こだわり行動

場面・場所	原因として考えられること(きっかけ)	表現・行動(強さ・持続時間)	落ち着く方法	予防方法
車で遊んでいると止められない、片づけられない	車にこだわりのある 次への切り替えが苦手	止めさせるとしつこく泣き、次への行動がなかなかできない	片づけの時間を歌って片づけを誘ってみる 泣いてしまったら、落ち着くまで待つ おける	遊んでいり時間を決めておく 遊んだ後のスケジュールを伝えておく

④福祉制度利用状況記入例(15ページ)

④福祉制度利用状況

●利用状況や手続きの時期など必要事項を備考欄に書いておきましょう。

□欄に利用有りの場合はチェック		
助成 医療 の 給付	<input type="checkbox"/> 特定疾患・小児慢性特定疾患	
	<input type="checkbox"/> 心身障害者医療費助成	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
自立 支援 給付	<input type="checkbox"/> 自立支援医療（更生医療・育成医療・精神通院医療）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護給付 （居宅介護、生活介護、行動援護、ショートステイ、 児童発達支援・放課後等デイサービス、その他）	〇〇事業所 毎週月曜日 16:00~17:00
	<input type="checkbox"/> 訓練等給付 （自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・グループホーム）	
	<input type="checkbox"/> 補 装 具	
地 域 生 活 支 援 事 業	<input type="checkbox"/> 移動支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日中一時支援	●●事業所 毎週土曜日 10:00~15:00
	<input type="checkbox"/> 日常生活用具の給付	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
そ の 他 の 福 祉 制 度 の 利 用	<input checked="" type="checkbox"/> 特別児童扶養手当	H27.3 再認定
	<input type="checkbox"/> 障害児福祉手当	
	<input type="checkbox"/> 障害基礎年金・障害厚生年金	
	<input type="checkbox"/>	

利用している福祉サービスの利用状況や、忘れがちな各種手当等の更新時期を記入しておきましょう。



①わたしの所属歴の記入例（19ページ）

①わたしの所属歴

	園・学校名	学年等	学級担任等	所属
幼稚園・保育園	〇〇保育園	0歳児		
		1歳児		
		2歳児		
		3歳児	〇〇 △◇ 先生	さくらぐみ
		4歳児	〇〇 △□ 先生	ももぐみ
		5歳児	〇〇 〇〇先生	ぶどうぐみ
小学校	△△小学校	1年生	〇〇△△先生（通常学級担任） △△□□さん（支援員の方）	通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
	△△小学校	2年生	〇〇〇〇先生（通常学級担任） ◇◇〇〇先生（養護の先生）	通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
	△△小学校	3年生	〇〇△△先生（支援学級担任） □□□□先生（通常学級担任）	通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
		4年生		通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
		5年生		通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
中学校		1年生		通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
		2年生		通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
		3年生		通常学級 ・ 通級指導教室 特別支援学級（知的、自閉症・情緒） 特別支援学校
高等学校		1年生		
		2年生		
		3年生		
		4年生		
太				

学級担任の欄には、担任の先生以外にもよく関わってくださった先生の名前も書き込めます。お子さんと相談して先生の名前を書き込んでもいいですね。

在籍していた学級を○で囲みましょう。

ここは、学校生活についての記録のページです。記録しておくことで、関わりのあった先生方のことが、良く分かります。

高等学校の欄は、通信制や定時制の学年にも対応するようにしています。



③相談や懇談の記録の記入例（25ページ）

③相談や懇談の記録<小学校・中学校・特別支援学校・高等学校・大学等>

相談や懇談の記録をこのカードに記入しましょう。通知票や学校からのおたより（通信）をはさんでもいいですね。

学校名・相談した人（〇〇小・◇◇先生） 記入日：〇〇年 12月 〇〇日（金）

学校での取り組み及び本人の様子	家庭での取り組み及び本人の様子
<p>○学習</p> <p>・漢字の練習が苦手でしたが、授業で言葉集めをしてから、漢字に興味を持っています。漢字辞典を家で作っているという話を休み時間に教えてくれました。</p>	<p>・漢字の練習は家でもがんばっています。今は魚への漢字を集めています。家ではパソコンで魚の写真を取り出して、その横に漢字を書いて辞典を作っています。とても楽しそうです。</p>
<p>○生活（基本的な生活習慣を含む）</p> <p>・縄跳びに興味を持っていて、友だちと外に出ることが増えました。縄跳びががんばりカードの4級に合格しました。</p>	<p>・家では全く外で遊ばないので、学校の話聞いて、冬休みに家族で縄跳びに挑戦してみたいと思います。</p> <p>・寒くなってから、朝起きるのに時間がかかるようになってきたので、早く寝ることを意識させています。</p>
<p>○コミュニケーション・社会性</p> <p>・自分がやりたいことがうまく言えないときがあります。周りの様子から「〇〇したかったんだね。」と言いやすくなるように声かけをしています。</p>	<p>・何も言わずに不機嫌そうなときは、落ち着いてから学校であった事を聞くようにしています。自分の気持ちがかうまく言えなかったときのことが多いようです。</p>

○興味・関心・ア

相談や懇談の記録は、学校の先生方と話し合ったことを残しておきましょう。懇談の時に話題になったことを書きとめると、どのようなことを話し合ったかが良く分かります。

また、懇談で参考になった資料を貼り付けたり、学校からもらった文書をファイルの中にとじ込んだりするなど、使いやすいように工夫してみてください。



このページは何枚も増やしていくことができます。成長の記録にもなりますね。